

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖市障害福祉計画 第1回策定委員会		
開催日時	平成26年8月12日	開催場所	鳥栖市役所2階第2会議室
出席者数	14人	傍聴人数	0人
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 第4期障害福祉計画の趣旨等</li> <li>② 第4期障害福祉計画に係る基本指針の主なポイント</li> <li>③ 第3期鳥栖市障害福祉計画の分析及び評価</li> <li>④ 本市の課題について</li> <li>⑤ 障害者理解基礎調査・関係団体等ヒアリング</li> <li>⑥ 障害福祉計画の策定スケジュールについて</li> </ul>		
配布資料	第4期障害福祉計画の趣旨等	資料1	
	第4期障害福祉計画に係る基本指針の主なポイント	資料2	
	第3期鳥栖市障害福祉計画の分析及び評価	資料3	
	本市の課題について	資料4	
	障害者理解基礎調査・関係団体等ヒアリング	資料5	
	障害福祉計画の策定スケジュールについて	資料6	
所管課	(課名) 社会福祉課 (電話番号) 0942-85-3642		

#### ◆訪問系サービスについて

##### 委員

居宅介護は今後必ず伸びてくると思うので、見込みを作成するときはそこを加味してほしい。同行援護は、支援者側の質の確保も考えてほしい。実績が伸びてないのは、そのせいもあると思う。

#### ◆日中活動系サービスについて

##### 委員

短期入所は、実績は増加しているが、利用者が希望通りの支援が受けられているとは言い難い。特に、医療的なケアが必要な人や、問題行動がある人に対応できる事業者は少ない。

#### ◆居住系サービスについて

##### 委員

居住系サービス増加の要因に、「事業所の増加」とあるが、「ニーズの増加に伴う事業所の増加」が正しいと思う。

##### 委員

施設入所の進捗率が100パーセントになっていて、実績数も現状維持。これは良いのか悪いのか。実際減少させることは難しいと思うが。目標設定はしっかり考えて定めてほしい。

##### 事務局

入所者は減っているが、その枠に新しい入所者が入っているような状況だと思われる。佐賀コロニーも出来るし、増加するのではないだろうか。

#### ◆相談支援事業について

##### 委員

成年後見利用制度の実績がゼロの理由は

##### 事務局

相談そのものは受けているが、親族等が後見人になるパターンのみであった

##### 委員

4期にむけては、相談体制の在り方を考えてほしい。相談業務を受けていると、サービスの相談と言うよりは、生活そのものに対する相談も多い。現場職員の負担が増大している。

24時間体制の安心コールセンターのようなものの設置が必要だと思う。

#### ◆コミュニケーション支援事業について

##### 委員

実績の「その他（点訳等）」がゼロの理由は

##### 事務局

市報は点字にして公共施設に設置はしている。今のところ、点字依頼の要望は受けていない

◆ 移動支援事業について

**委員**

「24年度実績が減少したのは、放課後デイが新設されたため利用者が流れた」とあるが、何故25年度には実績が回復して見込み通りの数値になっているのか

◆ その他事業について

**委員**

日中一時支援事業は、「延日数の実績が見込みを下回ったのは、放課後デイに利用者が移行した」と分析にあるが、『日中一時を利用したくても使えない』という声をよく聞く。本当に放課後デイが新設されたためだろうか

◆ 第4期計画に向けての課題の整理

**委員**

県が策定している計画の見込量と、市が策定する見込量の関係は。

**事務局**

県と協議をしていく

**委員**

目標達成に対する働きかけは。

**事務局**

事業所等とヒアリングを行い働きかける

**委員**

課題の中に、「一般就労移行」と「成年後見制度」は入れないのか。とても重要な部分であると思う。

**事務局**

一般就労移行に関しては、もしもネットなどにヒアリングは行っていく。計画の中に入れていきたい。後見人に関しては、次回の中で課題の整理をしていきたい

**委員**

地域の人の障害者に対する理解も課題だと思うので、課題として進めていってほしい

**委員**

障害者差別解消法ができた背景もあるし、理解促進を進めるべきだろう。

**委員**

一般就労移行について、事業所だけでなく、一般企業への聞き取りは考えていないのか。それによって企業の意識が高まることも考えられる。

**事務局**

現在は事業所や地域活動支援センターへの聞き取りしか考えていないが、検討していきたい。

**委員**

企業にとっては、障害の程度がどの程度なのかということが大事。モデル事案を示してやるとスムーズに行く可能性もあるのでは。

**委員**

他の関係課との連携は。

**事務局**

高齢者係や他の課と連携していきます

**委員**

精神障害者の記載が少ないようだが、どういう取組をしていくのか。

**事務局**

国が示している地域移行は計画に織り込んでいきたい